

数学

<全体分析>

試験時間 120分

解答問題数 5題

解答形式

空所補充（式、数値を記入）と証明を記述する設問（4問）を併用。

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化）

本年は典型的な問題が多かった。

出題の特徴や昨年との変更点

数学Ⅲ、数学Bからの出題が多い。

その他トピックス

問題3は抽象的な関数についての問題で、微分可能であることを仮定していない設定となっていた。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1（1）	整数	数学A	約数、6乗根に最も近い整数	やや易 標準
1（2）	数列と極限	数学B 数学Ⅲ	数学的帰納法 はさみうちによる極限の証明	
2	確率	数学A	コイン投げに関する確率	やや易
3	微分・積分	数学Ⅲ	絶対値のついた積分の最小値	やや難
4	空間ベクトル	数学B	平行六面体 平面と線分が共有点をもつ条件	標準
5	積分 極限值 複素数平面	数学Ⅲ	内サイクロイド、曲線の長さ はさみうちにより極限を求める	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

数学Ⅲ、数学Bを中心に様々なテーマの問題が出題されている。本年は標準的な問題が多かったが、難度の高い問題が出題されることが多く、十分な対策が必要である。典型的な問題の練習から始めて、次第に難度の高い問題にも取り組もう。時間がかかっても最後まで自分で考えて答を出すような経験を多く積んでいくと、合格に必要な実力が身につくはずである。